

7. 生産・出荷・在庫

生産は、緩やかに持ち直している。

(前年度比、前年同期(月)比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期(月)比、%)

	[2010年] 2010年度	[2011年] 2011年度	2011年 7 - 9月	10 - 12月	2012年 1 - 3月	2012年 1月	2月	3月	(予測調査)
鉱工業生産	[16.4] 9.3	[2.3] P 1.0	(5.4) 0.9	(0.4) 1.6	p (1.2) P 4.7	(0.9) 1.6	(1.6) 1.5	p (1.0) P 13.9	(4月 +1.0) (5月 4.1)
鉱工業出荷	[16.7] 9.4	[3.5] P 2.1	(7.0) 1.6	(0.3) 2.2	p (0.6) P 3.9	(1.1) 1.5	(0.3) 1.5	p (0.1) P 11.1	
鉱工業在庫	[3.8] 3.9	[3.8] P 9.6	(1.8) 6.0	(1.4) 3.8	p (5.9) P 9.6	(2.1) 2.5	(0.5) 1.0	p (4.3) P 9.6	
生産者製品在庫率指数 (2005年 = 100)	[108.0] 108.8	[112.7] P 115.5	117.6	112.7	P 115.5	113.5	110.4	p 115.5	
製造工業稼働率指数 (2005年 = 100)	[88.9] 88.0	[85.4]	87.5	89.3		92.8	91.2		
第3次産業 活動指数	[1.3] 1.1	[0.1] P 0.7	(1.5) 0.3	(0.5) 0.6	p (0.0) P 2.4	(0.6) 0.4	p (0.0) P 2.4	p (0.6) P 4.2	

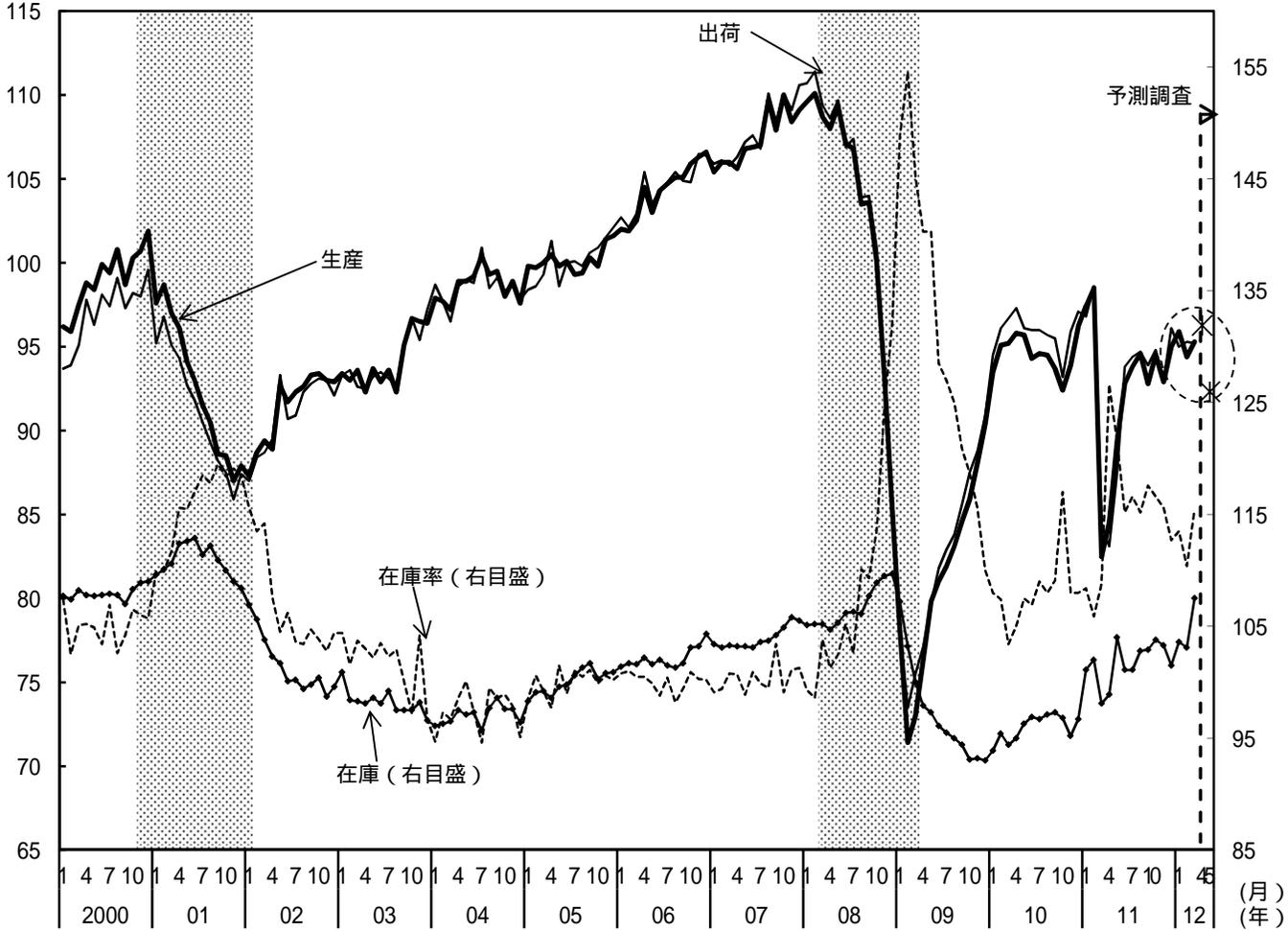
(備考) 1. 鉱工業在庫の暦年は年末値の前年同月比、年度は年度末値の前年同月比、四半期は期末値の前期比。Pは速報値。

2. 生産者製品在庫率の暦年、年度、四半期は期末値(季節調整値)。

3. 製造工業稼働率の暦年、年度は平均値(原数値)、四半期は平均値(季節調整値)。

鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移

(2005年 = 100)



(備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。
2. 季節調整済指数 (2005年 = 100)。シャドー部は景気後退期を表す。

業種別の動向

	2月	3月
生産が増加した 主な業種 (寄与度順)	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品・デバイス工業 鉄鋼業 食品・たばこ工業 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送機械工業 情報通信機械工業 窯業・土石製品工業
生産が減少した 主な業種 (寄与度順)	<ul style="list-style-type: none"> 一般機械工業 輸送機械工業 電気機械工業 	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品・デバイス工業 化学工業 (除. 医薬品) パルプ・紙・紙加工品工業

在庫循環図

